

ウィズコロナ時代の学生生活を支援する ----- 学生相談の現場から -----



高野 明（東京大学）



相談支援研究開発センター
Center for Research on Counseling and Support Services

学生生活の変化の影響

- 外出自粛
 - 同居家族との摩擦 ↑
 - 教員との距離感がつかめない
 - 部活・サークル活動の制限
 - アルバイトができず、経済的困窮も
- コミュニケーションの変化
 - SNS等でバーチャルなつながりが可能に
 - 直接的・目的的なコミュニケーション中心
(ついででのコミュニケーションが取りにくい)
 - 他者との関わりが求められないことの気楽さも



学生生活の変化の影響 つづき

- オンライン授業
 - 移動不要、質問がしやすい等のメリットも
 - 隣の学生と私語ができない等、何気ないコミュニケーションが取りにくい
 - オンオフの切り替えが難しい
 - 新入生にとっては想定以上に大きな変化に
- 就職活動の変化
 - 昨年までと大きく様変わりした採用活動
 - 出遅れた学生が戸惑い
- (今後)卒論・修論の進捗の遅れも？

ソーシャルサポートが得にくい学生生活
援助要請が苦手な学生がさらに孤立しがち



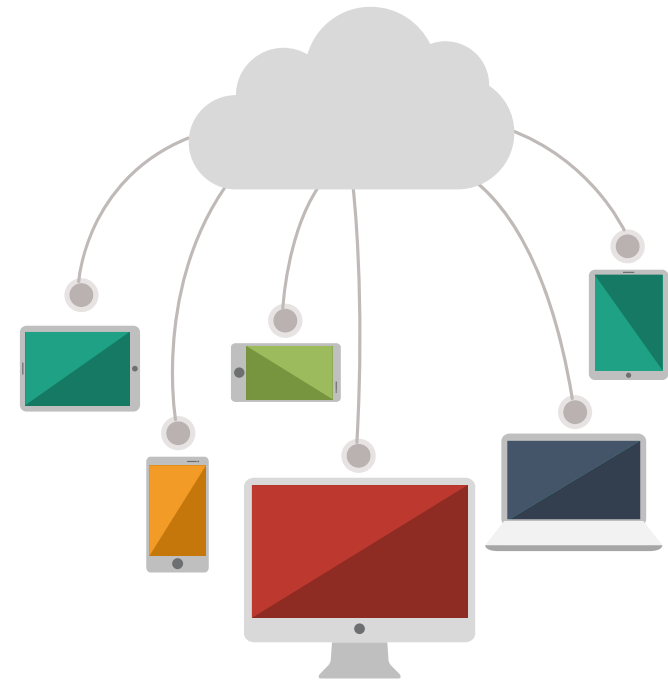
学生相談における対応

- 相談のオンライン化
 - メール相談
 - ビデオ会議システムによる相談
(SNS相談は未実施)
- オンラインのグループプログラム
- 啓発資料の発信
- 対面相談の再開
 - “密”を避けて実施へ
 - 地域によっても復帰状況に差がある



遠隔相談のメリット

- 対面しないことによる感染防止
- 相談へのアクセスしやすさの向上
- 利便性の向上
- コストの抑制
- スティグマやプライバシーの懸念の緩和
- クライエントのエンパワーメント



遠隔相談のリスクと課題

- メール相談
 - 非同期のやり取りでいつでも送信できる
 - 即時の対応が難しい
 - 通信が暗号化されない
 - 危機状況の判断と対応が難しい
- ビデオ会議システムによる相談
 - 視線が合わないといったビデオ会議特有の問題
 - プライバシーの確保が難しいことも
 - 通信の暗号化対応はサービスにより様々
 - 通信状況により不安定になることも
 - 危機対応が難しい

セキュリティ対策・危機対応に課題



新しい学生生活様式に合わせた、 学生相談サービスの再構成

- 遠隔相談の恒久的活用
- 支援につながりにくい学生にどのようにアウトリーチするか
- 二極化する学生
 - ソーシャルサポート強化の支援
 - 相談室内で完結する支援から、大学コミュニティへの支援へ



参考文献・ウェブサイト

1. 日本学生相談学会（2020）学生相談において、遠隔相談(Distance Counseling)を導入する際の留意点
http://www.gakuseisodan.com/?page_id=3758
2. Higher Education Mental Health Alliance (2018) HEMHA Guide: College Counseling from a Distance
http://hemha.org/wp-content/uploads/2018/04/HEMHA-Distance-Counseling_FINAL.pdf
3. 東京大学相談支援研究開発センター 新型コロナウイルス感染症の対応について
<http://dcs.adm.u-tokyo.ac.jp/top-info/4126/>

